

斗進

発行所

建交労田川支部



2026年
8月10日

NO. 929

「核なき世界 願いを次世代に」 の訴えに感動!

被爆者の伊藤さん（85歳）は、4歳のとき、爆心地から約3・2キロの庚（こう）午（う）北町の家に母親といて被爆し、逃げてきた人たちが自宅で次々に亡くなり、「亡くなった遺体を空き地に積み上げ、まるでごみのように焼かれた光景と臭いが忘れられない。その光景は1週間続いた」と語りました。2017年に国連で核兵器禁止条約が採択され、発効したことに「無力ではないと感じた」と語りました。

被爆者が語れる時間は長くないとして、「核兵器のない世界を願う思いを未来へつなぎ、共有してほしい」と呼びかけられました。

田川原水協の仲間たちと8月6日の「ヒロシマデー集会」に参加した建交労たがわ支部の内山久子さんはこの訴えに感動したと述べました。

朝5時半の出発で集会参加に合わせて広島平和公園や原爆資料館にもよりました。外国からの人たちも多く見えられていて熱心に観られていた。歩数計を見たら18000歩ぐらい歩いていました。

帰りついたのは午後10時でした。高齢の身になりましたが、1度は広島の大会にはいきたいとの思いで参加しました。若い人も参加しておられましたがお世話になりました。

8月地域で働く「仲間のつどい」
(大村文庫学習会)

処暑の候、元気に頑張っておられること
と思います。

さて、地域で働く、8月の「仲間のつどい」を下記日程で開きます。気軽に仲間を誘い合わせてお元気でご参加ください。

記

とき 8月24日（月）
午後5時30分より
ところ 建交労田川支部事務所
田川市新町10-60
電話（44-0987）

*組合活動日程
8月 1～3日 平和展
8月 6日 原水禁「ヒロシマデー」
8月 10日 九条の会
8月 19日 19の日行動
8月 24日 「仲間のつどい」
*事務所は
8/3、10、17、24、
31（月）開いています。
その他連絡は0947-44-0987



「人間賛歌としての経済学 AIの時代に問われる

人間の真価より

— 前略 —

AIに内在する問題はとてたくさんあります。人を喜ばせたり、安心させたり、寄り添い感を醸し出すように設計されたAIには、人々をとんでもない方向に誘導してしまう特性があります。

AI依存症は人間を思考停止に追い込んで行く面が多分にあるでしょう。

ひたすら勝つことだけを追求するように設計されたAIを、戦争シミュレーションに参加させれば、ほぼ必ず核兵器の使用を提案すると云う面もあります。倫理感を埋め込まれていないAIに自省能力はありません。

— 中略 —

「経済」 8月号 浜矩子(はまのりこ)

7月の組合活動

7	7	7	7	7	7	7
/	/	/	/	/	/	/
2	2	2	1	1	1	6
8	7	1	9	5	3	
事務所開		事務所開		事務所開		事務所開
9条の会田川会議		平和行進行動日		19の日行動(伊田団地セブン前)		事務所開
事務所開		事務所開		事務所開		事務所開
高齢者事業団訪問、		(建交労誌配布など)				

